

施公共設マネジメント推進委員会（第3回） 会議結果

日時 平成28年 2月12日（金）

場所 市役所 4階 第2会議室

○出席者

委員長 南 学
委員 谷口 元
委員 松山 明
委員 児玉 善郎
委員 神谷 坂敏

○事務局職員

教育長 岸上 善徳
総務部長 新美 龍二
都市政策部長 深谷 直弘
行政 GL 山本 時雄
学校経営 GL 内藤 克己
行政G主幹 杉浦 嘉彦
行政G主事 大八木 優希

○議題

1. 高浜市公共施設総合管理計画（案）について

資料1に基づき事務局より説明

主な意見

【計画全体】

- 財政状況まで見通して総合管理計画を作成している自治体は少ない。
- 圧縮率等のパーセンテージを出したとしても先送りしたら意味がない。先に何をやるかというところを具体的に検討し、計画を進めていかなければならない。本計画は他の自治体と比べて時期などが具体的に入っている。
- かわら美術館のあり方については、他の公共施設の機能の複合化の観点から、公民館的、図書館的なスペースの利用も選択肢に入れ、市民が交流できる場所にしていければよいのではないか。
- 図書館の機能について、貸し出しや読み聞かせのサービスを市内の施設に分散させるなど工夫し、財政負担を極力抑え、市民の利便性もあ

る程度維持できるような施設の使い方を検討した方がよい。

- ハコモノからの脱却がテーマ。ソフトをどうするかという点がファシリティマネジメントで重要。数十年先の長期のソフト計画も出せれば本当は良い。
- インフラ計画の制度をより高めていくためには、計画を作成する組織体制をしっかり整備していく必要がある。また、技術的な情報が蓄積されている国交省、県との連動が重要になってくる。
- 水門等防災に係る施設を計画に入れることも検討した方がよいのではないか。
- インフラの整備についても優先順位付けするべきである。

2. 高浜小学校等整備事業 基本計画について

資料2に基づき事務局より説明

主な意見

- 施設の利用者の動線については、児童の安全が最優先なので、しっかり検討してほしい。今回しっかりした計画ができれば、全国的に見ても画期的な施設になる。
- 複合化する施設を含めて、施設全体をどのようにうまく運営していくかを検討することが必要。

3. 青少年ホーム等の跡地活用について

資料3に基づき事務局より説明

主な意見

- 実力に応じてプログラムを組み、利用者がプロの指導を受けながらトレーニングをすることも可能である。
- 従来の概念を捨て、民間の力をどう活用していくかを検討し、跡地活用のモデル事業としてしっかりと進めてほしい。

4. 高浜市の公共施設を考える市民説明会のアンケート集計結果について

資料4に基づき事務局より説明